

ナリポ®ソーマルイリノテカン+フルオロウラシル+レボ®ホリナート療法を 受けられる患者様へ

治療について

この治療は、イリノテカンとフルオロウラシルという2種類の抗がん剤を組み合わせて行います。

ナリポソーマルイリノテカンは、イリノテカンがより効果的にがん細胞に取り込まれるように特殊な膜で薬を封入しています（商品名：オニバideon）。

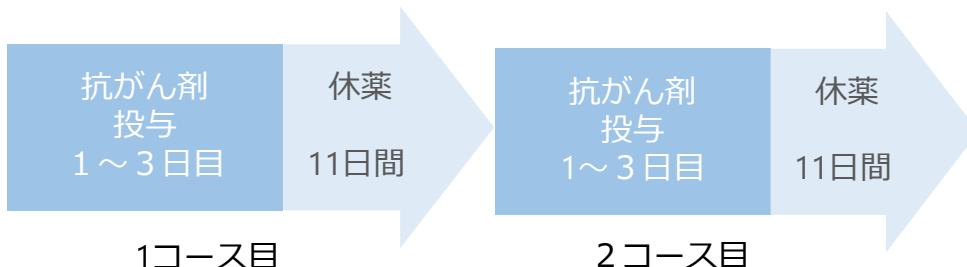
イリノテカンとフルオロウラシルはがん細胞に作用して、がん細胞の増殖を抑制します。

投与スケジュール 今日（ / ）は サイクル 日目

1日目に2種類の抗がん剤を投与します。

その内、フルオロウラシルは46時間かけて投与します。
(3日目に針を抜きます)

後の11日間を休みとし、14日間を一区切り(1コース)とします。



ここに示したスケジュールは参考であり、患者さんの状態や副作用によって変更することがあります。

点滴で投与する薬について

デキサメタゾン
グラニセトロン
ホスアプレピタン

吐き気止めのお薬です。
30分かけて投与します。

ナリポソーマル
イリノテカン
(mg)

抗がん剤です。
90分かけて投与します。

レボホリナート

フルオロウラシルの効果を高めます。
イリノテカンと一緒に
120分かけて投与します。

フルオロウラシル
(mg)

抗がん剤です。
46時間かけて投与します。
携帯用ポンプで持ち帰ります。

副作用について

自覚できる副作用

アレルギー反応
急性嘔吐 下痢

熱感・かゆみ・動悸などの症状が現れたら、
すぐにお伝えください。

遅発性嘔吐
食欲不振
便秘 倦怠感

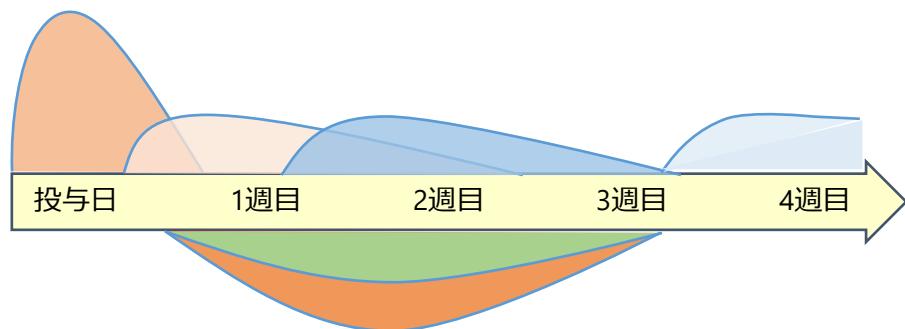
気持ちが悪い時には我慢せずに
申し出てください。他にもお薬があります。

口内炎 下痢
発疹

口内炎・下痢・便秘にはお薬が有効です。
遠慮せずに申し出てください。

脱毛 色素沈着
味覚の変化

髪の毛は、治療終了後半年くらいで
再び生えてきます。



肝障害 腎障害

白血球減少
血小板減少

感染予防のため、手洗いをこまめにしっかり
行いましょう。38℃以上の発熱がある場合は
病院に連絡をして下さい。

その他にも気になる症状がありましたら、
お気軽に医療スタッフまでご相談ください。

内服薬について

自覚できない副作用

1日目	2日目	3日目	4日目

吐き気予防のお薬です。吐き気が無くても服用してください。

日本医科大学武蔵小杉病院薬剤部

川崎市中原区小杉町1-396 ☎(044)733-5181